

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2011-203290(P2011-203290A)

【公開日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2010-67547(P2010-67547)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|-------|-----------|
| G 0 9 G | 5/00 | (2006.01) |
| G 0 9 G | 5/10 | (2006.01) |
| G 0 3 B | 21/14 | (2006.01) |
| H 0 4 N | 5/66 | (2006.01) |
| G 0 9 G | 3/20 | (2006.01) |
| G 0 9 G | 3/36 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|---------|
| G 0 9 G | 5/00 | 5 5 5 A |
| G 0 9 G | 5/00 | 5 5 0 M |
| G 0 9 G | 5/10 | B |
| G 0 9 G | 5/00 | 5 2 0 T |
| G 0 9 G | 5/00 | 5 5 5 G |
| G 0 3 B | 21/14 | Z |
| H 0 4 N | 5/66 | A |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 3 1 A |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 3 1 M |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 3 1 T |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 3 2 B |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 4 1 Q |
| G 0 9 G | 3/36 | |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 8 0 C |
| G 0 9 G | 3/20 | 6 5 0 C |

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像データが1フレームごとに順次書き込みおよび読み出しされる第1のアクセスモードと前記1フレームより小さく分割されたサブフレーム領域ごとに順次書き込みおよび読み出しされる第2のアクセスモードとを有するメモリ手段と、

前記メモリ手段に書き込まれる前記映像データとして、入力映像データの階調を圧縮して生成した圧縮映像データを出力する圧縮出力状態と前記入力映像データを圧縮せずに非圧縮映像データとして出力する非圧縮出力状態とに切り替え可能な圧縮手段と、

前記メモリ手段から読み出された前記圧縮映像データを復元して出力する復元出力状態と前記メモリ手段から読み出された前記非圧縮映像データを復元せずに出力する非復元出力状態とに切り替え可能な復元手段と、

表示映像の階調を調整するためのガンマカーブを補正するガンマカーブ補正手段と、
第1の映像表示モードと該第1の映像表示モードよりも前記表示映像の階調を優先する
第2の映像表示モードとを切り換え可能なモード選択手段と、

前記入力映像データの解像度を判定する解像度判定手段と、

前記メモリ手段のアクセスモード設定と前記圧縮手段および前記復元手段の状態切り替えとを制御する制御手段とを有し、

前記制御手段は、

前記第1の映像表示モードが設定された場合は、前記メモリ手段を前記第1のアクセスモードに設定し、

前記第2の映像表示モードが設定された場合は、前記圧縮および復元手段を前記非圧縮および非復元出力状態に設定するとともに、前記解像度判定手段により判定された前記解像度に対して前記メモリ手段の書き込み容量が大きいときは前記メモリ手段を前記第1のアクセスモードに設定し、前記解像度に対して前記メモリ手段の書き込み容量が小さいときは前記メモリ手段を前記第2のアクセスモードに設定することを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

前記入力映像データの拡大縮小処理を行う解像度変換手段を有し、

前記メモリ手段は、前記映像データの書き込みを一時的に禁止する第3のアクセスモードを有しており、

前記制御手段は、

前記第1の映像表示モードが設定された場合は、前記拡大縮小処理および前記メモリ手段の前記第3のアクセスモードへの設定を許可し、

前記第2の映像表示モードが設定された場合は、前記拡大縮小処理および前記メモリ手段の前記第3のアクセスモードへの設定を制限することを特徴とする請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

映像データが1フレームごとに順次書き込みおよび読み出しされる第1のアクセスモードと前記1フレームより小さく分割されたサブフレーム領域ごとに順次書き込みおよび読み出しされる第2のアクセスモードとを有するメモリ手段と、

前記メモリ手段に書き込まれる前記映像データとして、入力映像データの階調を圧縮して生成した圧縮映像データを出力する圧縮出力状態と前記入力映像データを圧縮せずに非圧縮映像データとして出力する非圧縮出力状態とに切り替え可能な圧縮手段と、

前記メモリ手段から読み出された前記圧縮映像データを復元して出力する復元出力状態と前記メモリ手段から読み出された前記非圧縮映像データを復元せずに出力する非復元出力状態とに切り替え可能な復元手段と、

表示映像の階調を調整するためのガンマカーブを補正するガンマカーブ補正手段と、

第1の映像表示モードと該第1の映像表示モードよりも前記表示映像の階調を優先する第2の映像表示モードとを切り換え可能なモード選択手段と、

前記入力映像データの解像度を判定する解像度判定手段とを有する画像表示装置の制御方法であって、

前記第1の映像表示モードが設定された場合に、前記メモリ手段を前記第1のアクセスモードに設定するステップと、

前記第2の映像表示モードが設定された場合に、前記圧縮および復元手段を前記非圧縮および非復元出力状態に設定するとともに、前記解像度判定手段により判定された前記解像度に対して前記メモリ手段の書き込み容量が大きいときは前記メモリ手段を前記第1のアクセスモードに設定し、前記解像度に対して前記メモリ手段の書き込み容量が小さいときは前記メモリ手段を前記第2のアクセスモードに設定するステップとを有することを特徴とする画像表示装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、本発明の他の一側面としての制御方法は、映像データが1フレームごとに順次書き込みおよび読み出しされる第1のアクセスモードと前記1フレームより小さく分割されたサブフレーム領域ごとに順次書き込みおよび読み出しされる第2のアクセスモードとを有するメモリ手段と、メモリ手段に書き込まれる映像データとして、入力映像データの階調を圧縮して生成した圧縮映像データを出力する圧縮出力状態と入力映像データを圧縮せずに非圧縮映像データとして出力する非圧縮出力状態とに切り替え可能な圧縮手段と、メモリ手段から読み出された圧縮映像データを復元して出力する復元出力状態とメモリ手段から読み出された非圧縮映像データを復元せずに出力する非復元出力状態とに切り替え可能な復元手段と、表示映像の階調を調整するためのガンマカーブを補正するガンマカーブ補正手段と、第1の映像表示モードと該第1の映像表示モードよりも表示映像の階調を優先する第2の映像表示モードとを切り換え可能なモード選択手段と、入力映像データの解像度を判定する解像度判定手段とを有する画像表示装置に適用される。該制御方法は、第1の映像表示モードが設定された場合に、メモリ手段を第1のアクセスモードに設定するステップと、第2の映像表示モードが設定された場合に、圧縮および復元手段を非圧縮および非復元出力状態に設定するとともに、解像度判定手段により判定された解像度に対してメモリ手段の書き込み容量が大きいときはメモリ手段を第1のアクセスモードに設定し、解像度に対してメモリ手段の書き込み容量が小さいときはメモリ手段を第2のアクセスモードに設定するステップとを有することを特徴とする。